



～地域包括ケア病棟から地域をデザインする～

発行元：地域包括ケア病棟“彩り”・リハビリ科・地域医療連携室

退院支援チーム主催研修会の報告

～ 貴重な時間となりました ～

12月3日（火）、「胃ろう造設後～自宅退院～」というテーマで研修会を開催しました。参加者は、看護師など院内スタッフ25人と地域のケアマネジャー8人です。講師には浅津ケアマネジャー（ハッピーコスモス）をお招きし、事例を紹介して頂きました。事例は、基礎疾患にパーキンソン病をお持ちの70歳代女性で、肺炎での入院後、嚥下機能の低下により胃ろうを造設されることとなった患者さんです。

事例紹介の後は、意見交換会のような時間を持つことができました。以前から、嚥下機能の低下が認められ、嚥下機能評価入院等も経験されていた患者さんでしたので、肺炎での入院から胃ろう造設後、自宅退院に向けての調整が比較的スムーズに行えた事例であったと思います。

退院支援チーム員会議で研修会の振り返りを行ったところ、「もっと地域のケアマネジャーの声を聞く時間が欲しかった」との意見がありました。このような研修会を通じて、ケアマネジャーや訪問看護師等の地域の皆さんと院内の職員が顔を合わせて意見交換することは非常に貴重な時間です。今後もこのような研修を重ねつつ、より一層スムーズな退院調整を行っていけるよう努力して参りたいと考えています。（地域医療連携室 ソーシャルワーカー 濱松 佳子）

がん相談支援センター主催 意見交換会の報告

～ 今後の支援に役立てるために ～



令和元年12月11日（水）、がん相談支援センターが主催となり、意見交換会を開催しました。当院は、2008年12月に京都府から地域がん診療連携協力病院に指定され、現在は2015年に国から地域がん診療病院の指定を受けております。全国どこでも質の高いがん医療を提供できるよう、がん医療の均てん化を目指し、その整備を進めることが求められており、「がん相談支援センター」の設置は、地域がん診療病院の指定を受ける要件の1つとなっています。

当院にも、患者さんやご家族・地域のどなたでも無料で利用いただける、がんの総合窓口「がん相談支援センター」を設置しており、中嶋（がん相談支援センター専従）と癌性疼痛看護認定看護師の大野（がん相談支援センター専任）の2名で相談対応していますが、その存在について、あまり周知できていない現状がありました。

今回、居宅介護支援事業所と訪問看護事業所から代表の方にご出席をお願いし、①がん相談支援センターを知って頂くこと、②地域の要望をお聞きし今後の支援に役立てること、を目的として意見交換会を開催しました。（院内からは、中嶋、大野の他、訪問看護部門の竹内副看護部長、奥田

（裏面に続く）

看護師が、地域医療連携室からは南出室長が出席しました。

意見交換会でははじめに、がん相談支援センターの活動報告を行いました。その後、訪問看護部門の奥田看護師より、患者さんやご家族の思いに寄り添い、入退院を繰り返しながらご自宅での看取りにつながった事例報告を行いました。そして、意見交換です。最後まで治療をあきらめきれない患者さんに対してどのように向き合うかというテーマで意見交換し、患者さんの考えを理解できなくても、理解しようとする姿勢が必要ではないかなど、それぞれの立場からがん患者さんへの支援について密度の高い意見交換をすることができました。また、がん相談支援センターの活動の周知方法については、相談者の成功体験を口コミで広げていけたらよいのではないかと、訪問看護師会・京都府介護支援専門員相楽ブロックなどが実施している研修会に出向いて周知してはどうか、など様々なアドバイスを頂戴しました。

今回の意見交換会で頂戴したご意見やアドバイスを活かし、患者さんやご家族、地域の関係機関の皆様に「がん相談支援センター」を広く利用して頂くことに尽力するとともに、このような意見交換の輪を広げていけたらと考えております。引き続きよろしく申し上げます。

(地域医療連携室 主任 中嶋 庸介)

令和元年度 第2回認知症疾患医療連携協議会の開催について

以下の日程で、令和元年度第2回認知症疾患医療連携協議会を開催します。出席をお願いさせて頂く方々には改めてご案内させていただきます。傍聴も可能としていますので、お気軽にご来院ください（事前申し込み不要）。詳細は改めてお知らせします。会場は、当院9階会議室です。

*

日時：令和2年2月17日（月）午後2時00分～午後3時30分

問い合わせ先：0774-72-6363（担当：谷川・南出）

地域医療連携室より

～ お声かけします。お声かけ下さい。～

地域包括ケア病棟に入院（又は急性期病棟から転棟）して頂くと、入院中の支援について院内の多職種が話し合うため、7日以内にカンファレンス（初期カンファレンス）を実施します。先日、中嶋SWが担当している患者さんの初期カンファレンスに、担当ケアマネジャーが参加して下さいました。

普段、ケアマネジャーなど地域の専門職の方々に参加して頂くカンファレンスは、急性期の治療が終了し、患者さんの退院が近くなってから実施（退院前カンファレンス）することが多いのですが、入院初期の段階で実施する初期カンファレンスに、入院前の生活状況を把握しておられるケアマネジャーに参加して頂くことで、我々の入院中の患者さんの支援の質が高まるのではないかと考えています。

今後も必要に応じてお声かけさせていただきます。また、地域の皆様からも「いつカンファレンスするの?」「カンファレンスする時は呼んで」と遠慮なくお声かけください。よろしく申し上げます。

(地域医療連携室 室長 南出 弦)